

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・環境 I	演習	1	阪上 節子
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 1. 乳幼児期の環境を通しての発達の特性を正しく理解する。 2. 身近な環境に好奇心や探究心をもってかかわり生活に取り入れる力を養う。			
<b>【授業の概要】</b> 幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針の中で「環境による保育」の重要性が呼ばれている。『保育内容 環境』は、幼児期にふさわしい環境づくりとはいかなるものなのか、その意義とは何かを明らかにすることをテーマにした科目である。幼児期の特性を踏まえた身近な環境について考える。また幼児期が様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわりそれらを生活に取り入れていこうとする力を養うために保育者はどのように援助すればいいかを事例を通して学び保育者自身に求められる資質を追求していく。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス			
2. 環境を通して行う教育			
3. 子どもの育ちと領域（環境）			
4. 領域（環境）と他領域との関係			
5. 保育者の役割			
6. 好奇心・探索心を育てる			
7. いろいろな人と関わる生活			
8. 自然環境にかかわる生活（1）飼育			
9. 自然環境に関わる生活（2）栽培			
10. ものや道具にかかわる生活			
11. 文字や数量に関わる生活			
12. 地域の環境に関わる生活			
13. 保育現場の環境構成（1）乳児			
14. 保育現場の環境構成（2）幼児			
15. 授業のまとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方：次週の授業内容について説明する。			
学習のあり方：A4の大学ノート1冊各自で用意する。			
復習のあり方：各自で授業のまとめを大学ノートにしておく。			
<b>【成績評価】</b>			
1. 提出物・小テスト、50%                      2. 定期試験の総合評価      50%			
<b>【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】</b>			
レポート提出や小テストにコメントを記入し返却する。			
<b>【テキスト】</b>			
近藤幹生監修 『保育内容 環境』 徳安敦、瀧川光治、杉浦広幸、青踏社 2018年4月			

**【参考文献】**

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書 、保育所保育指針解説書（フレーベル館）